



松陵健児

発行日：平成27年9月1日 発行人：能代高校東京同窓会 責任者：菅原渉 編集：会報誌委員会 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



平成26年度の能代高校東京同窓会・懇親会で、アトラクションとして披露した松陵クワイヤによるゴスペル歌唱。ゴスペルの名曲「オー・ハッピー・デイ」と「秋田音頭(能代高校バージョン)」を歌い、最後に決めポーズ。

平成27年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】平成27年10月3日(土)

□受付 12:00～

□総会 12:20～

□講演会 13:00～

講師 金子 裕二さん(第41期)

有限会社グランビア代表取締役

□懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

年会費は今年から2,000円に値下げ

【年会費】2,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

*お振込、または当日受付にて受領します。

*割引制度や特例があります。

■出欠にかかわらず必ず、同封のはがきを

9月24日(木)まで投函ください!

総会・懇親会の詳細は本誌6ページに掲載しています。

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com/>

時代に合わせて変わる同窓会

東京同窓会会長 第39期 菅原 渉

日頃から東京同窓会に対し深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。また、毎年年会費を納入いただいておりますこと、この場を借りまして改めて御礼申し上げます。



東京同窓会では今年度から年会費を2000円に値下げすることに致しました。これまで3000円でやって来ましたが、本校同窓会や他校同窓会と比べて少し高い水準にありました。総会には出席しなくても毎年きちんと納入してくれる会員さんのためにも何とか年会費を値下げできないかと、この20年来度々幹事会で話し合わせて参りました。しかし年会費の値下げは収支の赤字につながり、同窓会の永続性を考えると大変悩ましい問題でなかなか値下げに踏み切ることができませんでした。街の居酒屋では4～5000円も出せば結構な会合が開ける時代なのに「懇親会費と年会費で1万円の参加費は高い」「費用面でも気軽に参加できる会にして欲しい」との声も多いことから、今年度から「年会費を2000円」に減額することを先の幹事会で決定致しました。同じ値下げでも懇親会費を下げた方が財政上の影響は小さいのですが、総会参加者だけでなく会員全員が対象となる年会費を下げる方を敢えて選択しました。

わずか1000円の値下げではありますが、総額では約20万円の減収になります。これまでと同じやり方では、単年度事業では赤字になってしまうことから、活動内容の見直しや諸々の合理化・節約に取り組んでいく必要があります。今年の会報誌は例年より2ページ少ない14ページでの発行になりましたが、これも経費節減の工夫のひとつになります。

東京同窓会に会費を納めてくれる人の数は、県内の同規模の同窓会と比べて約半分程度と少ないのが実態です。会費が高かったことが一因かもしれませんが、今回同じ会費水準になりますので納入者数も増えて、値下げによる減収分がカバーで

きるといいなあと願っております。これを機に一人でも多くの方に会費納入にご協力いただけましたら誠に幸いです。

次に懇親会のスタイルについて、今年は着席バイキング形式への変更を予定しています。会の発足当初から長らく立食形式だった懇親会スタイルを十数年前から着席ビュフェ形式に変えました。立食は自由に移動ができることから参加者同士の交流が大いに進むと言う大きなメリットがありますが、長時間立ちっぱなしは疲れるとの声が多く出ます。一方着席ビュフェスタイルは楽なのですがテーブル間の移動が難しくなり、着席したテーブル内だけでの交流になりがちです。箸や皿などを持ったままいろいろなテーブルを歩きまわったり、順次給仕される料理の途中で他のテーブルに割り込んだりするのには難しいからです。そこで、今年は折衷形式の着席バイキングの工夫を試してみたいと考えています。これならば料理を取りに行った時に好きなテーブルに気軽に移動ができ、交流も大いに進むと思われます。会場がいつもキツキツでスペースの余裕がなかったために採用できなかったのですが、今年はトライします。

このように参加費やスタイルも時代に合わせた工夫をしながら、皆さんが楽しく過ごせる同窓会にして行きたいと考えております。

10月3日、会場のアルカディア市ヶ谷に集まり、今年もみんなで大いに楽しみましょう。幹事一同心よりお待ちしております。

心に残っていること、そして今

能代高等学校校長 第45期 菊池 一二三

東京同窓会の皆様には、いつも母校に深い愛情を注いでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。私は10年前にも6年間本校に勤務していましたが、90周年の記念すべき年にまた赴任できたことを心から嬉しく思っております。



私も本校同窓生であり、高校時代の数多い思い

出の中でも印象深いものといえば、校舎の移転であり、それに伴う能高祭開催についてのことで。昭和49年、私が3年生の秋に校舎は移転されることになっていたので、学校側からは学校祭の自粛が生徒会の方に打診されたのでした。勿論、時の3年生は猛反発、生徒会の役員だった私は何度も先生方と交渉し、会期の縮小と本校舎を使わないという条件で開催にこぎつけたのでした。屋外をフルに活用した企画や、例年は行わなかった仮装行列を試みたこと等が思い出に残っています。

校舎移転は10月の末に2日間かけて行われました。バイパスはまだ未舗装で、校舎と田屋集落がある以外一面水田という景色でした。猛吹雪の中の通学では校舎が見えず、校門の位置もわからないまま通り過ぎて田屋の集落まで行ってしまうということも何度かありました。

私が卒業した昭和50年が本校創立50周年でしたので、40年の月日が経ったことになります。移転後、校舎の周りに植樹された1600本余りの黒松は、当時人間の背丈ほどの細い若木でありましたが、今では一抱えもある大木になっております。周辺には商業施設や住宅が建ち並び、校舎はバイパスや列車の車窓からは見えなくなりました。

40年の間には生徒の品行も大きく変わりました。集会時「チューー」という生徒は一人もおられません。皆、紳士淑女です(昔から?)。90周年記念招待試合(6月19日)では、全校一丸となった応援で盛り上がりました。この節目の年を、100周年に向けた新たな一歩を踏み出す記念すべき年にしたいと思っております。



昨年の総会開始直前の幹事ミーティング。

ふるさとの山はありがたきかな

能代高等学校教頭 第47期 平川 信重

平成26年度の能代高校東京同窓会に出席させていただき心から感謝しております。この度の出席は能代高校の校長代理という立場からでした。同窓会では皆様方へ



の感謝の言葉と能代高校の近況を伝える役割がありました。東京で活躍されている多くの先輩の皆さんの前でスピーチになるので、当日私は大変緊張してアルカディア市ヶ谷へ向かいました。しかしながらその緊張も受付にたどり着くやいなや懐かしさとうれしさに感涙の極みになりました。私は能代高校を卒業して38年になりますが、それ以来会うことのなかった同級生、そしてお世話になった先輩の皆さんから声をかけていただき再会を果たせたからです。容姿に歳月を感じさせるものはあっても皆さんの目には当時と変わらぬ輝きがありました。懇親会では懐かしい皆さんと尽きぬ話をさせていただきました。また、多くの大先輩のOB・OGの皆さんともお話をすることができました。東京でのご活躍の様子に加え、最後には現役の能代高校生を気遣うお言葉をいただき心から感謝しています。

懇親会の流れは加藤正人様の講演に始まり、後半は「松陵クワイヤ」によるゴスペル、そして能代高校校歌。まさに夢のような時間でした。年代に違いはあれど能代高校で学んだ者であればこそ感じる強い絆が年の差の垣根を取り払い、出席者のみんなが親交を深めあえた時間でした。

石川啄木に「ふるさとの山に向かいて 言うことなし ふるさとの山はありがたきかな」という歌がありますが、私は東京同窓会に同様な感激と感謝を強く感じています。今後もこのままの東京同窓会の継続と、そして菅原渉会長さんをはじめとする同会の皆様方のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。加えて、能代高校を卒業し皆さんと同様東京で自らの夢と志を果たすべく上京する後輩たちをどうかよろしくお願ひします。

恩 師 に 聞 く

能代高校と私

中村 栄喜 先生(第38期)

同窓生であり、昭和49(1974)年4月から平成9(1997)年3月まで能代高校に在職された保健体育の中村栄喜先生(体操部監督)にご寄稿いただきました。



●22年間の在職期間の思い出

平成27年・2015年能代高等学校創立90周年のこの年、東京同窓会会報誌の寄稿に私でいいのか悩みましたが、このような機会は二度とないと思いい勇気を持ってお受けしました。

創立記念と言えば40周年は能代高校入学、50周年は能代高校採用、60周年は職員として永年勤続表彰、70周年では記念式典の司会を務めさせていただく等、私にとって関わりが深かったように思います。

22年間の在職期間、心に残っている出来事を挙げると、講師として赴任した昭和49年10月樽子山旧校舎からでこぼこの砂利道を机や椅子をトラックに積み全校生徒職員での高埜新校舎への移転、50年戸松恭一先生が体操部の飯坂尚登氏をモデルとして制作した「自在の像」の除幕式、55年第二体育館落成式での梶山・平田の両オリンピック選手による演技会、57年樽子山校舎跡地に建造された佐々木満氏揮毫による「青春碑」の除幕式、58年日本海中部地震、大きな揺れで生徒を体育館からグラウンドに避難させた時見た揺れ動く地面やこんにやくのように揺れていた校舎、平成3年森岳回りの一コースの十里強歩を地元の負担軽減など考慮し2年かけて鶴形・富根・常盤・向能代方面の北コースの新設担当等、思い出は尽きません。

●体操部の部員として、監督として

個人的には昭和40年入学、全国に能代高校体操部の名を轟かせていた時代、レギュラーになれ

ばそれは全国一という約束手形をもらったも同然の時代。練習は厳しかった。その厳しさを語るにしても大げさだと思われたくないので書くことは止めますが、それにしても「よく、耐えた」しかし、一生の大切な誇れる思い出です。全国で優勝しなければ肩身の狭い思いをする、そんな思いはさせたくないと叱咤激励をしてくださった大先輩の顔は真剣そのものでありました。

3年の新潟インターハイ、規定で2位となり自由演技では総合優勝を目指していた夜、淡路院長先生他数名の大先輩が応援に駆けつけてくれ、宿舎で「俺たちは優勝できなかった。こんな思いはさせたくない。規定で負けている時は応援に駆けつけ全部逆転優勝してきた。おまえたちも大丈夫だ。頑張れ」と激励してくださいましたが、結局2位に終わり、それに比べられなかった自分が今でも情けなく申し訳ない気持ちでいっぱいです。私も全国優勝できなかった肩身の狭い部員のひとりです。

監督としては全国優勝は遠く叶うことはできませんでしたが、校長先生はじめ教職員の御理解と御協力(本当に御迷惑をおかけしました)、そして選手達に助けられ全国大会団体で6位・7位・8位(2回)の成績を収めることが出来ました。現在、大塚孝幸監督の下、部員一同伝統に支えられ汗しています。

最後に、校長室前の廊下に色紙が掲載されています。その中に「生涯の細やかな誇り、孫までの3代、能代高校に学びそして体操部で汗したこと」第14期生の父・中村史朗の色紙があります。私の一生の誇りです。

結びになりますが、能代高校東京同窓会のさらなる御発展を祈念して閉じたいと思います。

●校歌が説くように

平成22年退職後2年間、能代高校で体育の非常勤講師。退職前7年は直接授業を持つ事がなかったのが生徒像の変化に改めて驚き、今の教職員の御苦勞に頭が下がる思いです。

在校生諸君、「若き命を讀へつつ」「強き力を学びつつ」「清き操をたぐいつつ」「学びの道を究めよや 奮え松陵我が健児」、君たちに向けての心構えをこれだけ説いている校歌はないと思います。誠を持って事をなせ。

能 高 生 だ よ り

10年ぶりのインターハイ団体出場

空手道部女子主将 3年D組 鷲谷 美美子

今年度、私達は入部当時から掲げてきた「インターハイ出場」という目標を達成することができました。私達のチームは3年生5人のうち空手の経験者は一人のみで、ほぼ初心者だけでスタートしたようなものでした。そのため日々の練習やコーチ・OB・OGの方々の指導等一つ一つを大切にして3年間部活動に精を出してきました。

しかし、私たちはメンタルが弱く本番でいつも通りの動きができず、団体組手では毎回2位という成績でした。今年の県北総体でも納得のいく試合をすることができず、後味の悪い結果を残し、涙をのみました。それからの約1ヶ月間は気持ちを入れ直し、全県総体では優勝し、インターハイへ出場するという目標を常に念頭に置き、これまで以上の練習をしました。その甲斐あって3年生の最後の大会である全県総体で能代高校では10年ぶりとなる団体組手優勝という目標を達成することができました。

私たちが今まで頑張ってきたのは監督をはじめとする多くの方々、そして家族の支えがあったお陰だと改めて思えた大会でした。今まで支えてくれた方々への恩返しをすることができ、また先輩方の悔しさを晴らすことができたのではないかと思います。

今のメンバーで練習できるのは残りわずかですが、その時間を大切に、能代高校らしく粘り強く頑張っていきたいと思います。これからも能代高校空手道部の応援をよろしくお願いいたします。



レシコンクールで優秀賞

2年B組 銭谷 美咲



今年の1月の「高校生おいしく減塩・野菜も摂れるレシコンクール」で、私の考案したイカフライの卵とじ丼が優秀賞をいただきました。これは昨年の夏休み課題として作ったものです。普段は母が作ってくれるものに色味を出すために枝豆を加え、さらに減塩を感じさせない味にするためにイカをショウガ汁に漬ける工夫を盛り込みました。

コンクール（審査員のいる会場で作品を調理）に出るにあたって、いざ自分一人で作ってみたいが慣れない作業ばかりでした。それでもそのおかげで揚げ物ができるようになったりイカに切り込みを入れると食べやすくなることを知ったりと、多くのことを学ぶことができました。

6月にはイオン・いとく・タカヤナギでメニューが商品化されました。食べてくれた友達や先生方からたくさんの「おいしかった」という言葉もらい、自分の家の味が多くの人たちに広がっていくことは不思議な気持ちもしましたがとてもうれしいことでした。また、イオンショップで自分の作品（商品）の店頭販売も経験させていただき、お客さんとのやりとりから能代の皆さんの温かさを感じることもでき、大変いい一日になりました。

また私は放課後、吹奏楽部で頑張っています。昨年度の全日本アンサンブルコンテストでは、打楽器三重奏のメンバーの一員として東北大会に出場し銅賞をいただけてきました。

こうして多くの活動・体験ができるのも周りの方達のおかげだと思っています。今私は能代高校生として大変充実しています。今後部活動では全国を目指し、さらにまた今回のコンクールのように、他に挑戦できる機会があれば積極的に参加し上位を目指したいと思います。

平成27年度 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】平成27年10月3日(土)

受付 12:00～
 総会 12:20～
 講演会 13:00～
 懇親会 13:30～16:00

【年会費】2,000円

- * 年会費は今年から2,000円に値下げ
- * 世帯制割引：夫婦そろって同窓生の場合は一世帯2,000円
- * 2015年新卒者特例：1,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

- * 割引制度や特例があります(下段参照)。
- * 3階・会場前の受付で会費・懇親会費をお預かりします。

【出欠】同封のはがきは9月24日(木)までに投函ください。
 東京同窓会ホームページでも受け付けます。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

JR/地下鉄(有楽町線、南北線、都営新宿線)
 市ヶ谷駅より徒歩3分
 千代田区九段北4-2-25 電話 03-3261-9921
<http://www.arcadia-jp.org/>



講演会

演題「還暦を過ぎて これからの夢」

講師：金子 裕二さん(第41期)

秋田産自家製生ハムづくり、スペインレストランを東京に出店して見えてきた秋田の魅力、これからの夢などについて語っていただきます。



《プロフィール》

かねこ ゆうじ

有限会社グランピア代表取締役。1952年生まれ。三種町出身、浜口中学校卒。能代高校2年生の頃にフラメンコ音楽が好きになる。1982年スペインレストラン「グランピア」を秋田市に開店。85年頃からスペイン風の長期熟成型生ハム、ハモンセラノづくり開始。2005年以降、東京赤坂にスペイン料理店2店舗を出店。仙北市田沢湖で、生ハム文化普及のため、技術を教える「生ハム塾」を毎冬開講。塾は今年で17回目を迎え、受講者は延べ1000名を数える。昨年、自身が描いていた「文化村構想～豚の放牧事業～」が内閣府から注目され仙北市の地方創生特区に認定される。現在、仙北市の仲間たちと来年の事業開始に向けて準備中。

◆出欠にかかわらず回答はがきを必ず投函してください!

同窓会案内に対して3年間連続して無回答の方は会報誌発送リストから外され、往復葉書による隔年案内または発送停止に切り替わります。個人情報保護の高まりからか、表札を掲げない人や郵便受けに名前を表示しない人が増え、移転により別の人が住んでいても郵便物等がそのまま配達され、会員の皆さんに届いていないケースが多くなってきたからです。

- * 会報は3年の間に1回でも「総会に出席した人」「会費の納入があった人」「回答はがきを返信した人(出欠問わず)」に発送しております。
- * 3年間に一度も回答のない方は案内が届いていないと見なされます。

◆住所変更の届けをお願いします!

住所やメールアドレスの変更があったときは、事務局までお知らせください。そのままですと会報誌や総会案内などが届かなくなります。住所確認のためにも回答はがきの投函をお願いします。

手書きでFAX(03-5847-7056)でも、ホームページ(<http://shoryokenji.web.fc2.com/>)からでも送信できます。

【懇親会費の割引・特例】以下のとおり差し引きます(昨年度に一部見直しています)

- | | | | |
|-------------------|----------------------------------|-------------------|------------------------|
| 1) 初参加割引 | 総会・懇親会に初参加の同窓生は | 2,000円引 | ★1、2、3は重複可 |
| 2) 若者割引 | 第64期生以降の同窓生は | 2,000円引 | (来年は65期生以降が対象です) |
| 3) 先輩割引 | 第29期以前の同窓生は | 2,000円引 | (来年は30期生以前が対象です) |
| 4) 新卒者特例 | 今年2015年に卒業した同窓生は | 無料 | (年会費の1,000円だけで参加できます) |
| 5) 学生特例 | 同窓生で新卒以外の学生の方は | 1,000円で参加できます | (年齢不問) |
| 6) 東京同窓会以外の能高同窓生は | | 男性6,000円、女性5,000円 | で参加できます(東京同窓会年会費は不要です) |
| 7) 家族の参加 | 同窓生の家族は | 3,000円のお支払い | で参加できます |
| | ★ちょっと健康が不安という方は家族の方と一緒に参加してください | | |
| | ★家族に同窓会の雰囲気を見せてあげたい方も遠慮なくご同伴ください | | |
| | ★小学生以下は無料 | | |
| 8) 友人の参加 | 同窓生以外の方も | 男性7,000円、女性6,000円 | で参加できます |

平成26年度総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【19期】小林肇(能代)【21期】五十嵐資和(能代)、八杉和男(能代)、信太吉右工門(能代)【24期】小山黎子(二中)【25期】那須秋男(一中)、畠豊彦(一中)、佐々木胤麿(東雲)【26期】畠山信孝(鶴川)【27期】若松正雄(一中)、大村真陸郎(浜口)、山田邦夫(荷上場)【29期】宮腰興紀(一中)、石川正順(森岳)、赤塚鉄男(東雲)、宮腰瑞夫(一中)、関根市男(一中)【30期】熊谷幸夫(一中)【31期】馬場富男(二中)【32期】森喬夫(一中)、高谷誠(深浦)、小高功(下岩川)【34期】西川廣正(東雲)【35期】石山真(二ツ井)、金谷満郎(浅内)、干場革治(八森)【36期】嶋田星子(二ツ井)【38期】豊嶋誠(檜山)、袴田忠夫(二中)、佐藤能雅(東雲)、岩谷憲一(一中)【39期】菅原渉(下岩川)、大塚進(二中)、下坂節男(藤里)、直嶋博明(東雲)、諸沢隆一(一中)、田村敏雄(一中)【40期】森田新一郎(沢目、能代から参加)、小林哲(東能代)【41期】小河範也(二中)、金子裕二(浜口)、大久保英生(二中)、原田税(浅内)【42期】加藤正人(一中)【43期】福岡武(二ツ井)、菊池忠夫(藤里)【44期】庄内俊憲(八森)【45期】袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、鎌田泰宏(二中)、真崎裕(二中)、大塚雄蔵(二中)【46期】石井喬(二中)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)、秋林泰樹(二ツ井)、平川尚(一中)【47期】野村一哉(二中)、越中谷真喜(一中)、和平忠幸(八森)、平川信重*(二中、能代から参加)、小林典夫*(二中)【48期】北林蒔子(一中)、佐藤美香子*(二ツ井、旧姓中田)【49期】片谷浩之(二中)、田村盛仁(二中)、近藤敏仁(下岩川)、大塚聡子(一中、旧姓佐藤)【50期】石井鉄美(一中)、五十嵐浩英(二中、能代から参加)【51期】袴田亘(二中)、河田康史(檜山)【52期】井瀧正彦*(二中)【53期】梶原禎子(八竜)、吉田順(一中)【54期】佐藤篤規(二中、三重県津から参加)【55期】淡路和子(一中)、嶋田久美子(常磐、旧姓工藤)【56期】吉田由美子(鷹巣)、高島雪絵(合川)【59期】越前谷久(二ツ井)【66期】高橋弘志(二ツ井)、清水洋志(八竜)【67期】滝田祐作(一中)、小野立(一中、能代から参加)【78期】今西拓磨(八竜)【81期】塚本希美(一中)【83期】塚本柚美(一中)

●年会費世帯制の適用者1組は2名の名前を掲載しました。

●同窓生出席者数87名 ●東京同窓会以外の同窓生4名 ●*印は初参加者4名 ●出身中学校名は卒業当時の校名

平成26年度総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【8期】#星信勝【14期】宮原茂悦【15期】吉田信一【18期】愛沢鉄治【19期】#大塚哲郎、#鈴木良夫【20期】#金谷芳郎【21期】斎藤正【23期】芳賀徹、#矢口裕【24期】#木村信逸、#中島正美、#豊田誠、#山縣輝輔、#今村宏司、#蓮沼旬【25期】#栗原俊一、民谷恒二、#工藤尊久、#町田次男【26期】北村祐三、神馬清史、伊藤倫子、八柳昭義、池内廣之、板倉富彌、岩見尚夫、堀良三、宮腰英彌、#佐々木高博【27期】#栗原優子、#田中郁三、#斎藤秀夫、#檜森寛、堀隆、#後藤信義、#石嶋喜直、高砂浩、#川井芳敬【28期】#長野谷青史、#須田正巳【29期】#山下進吾、#下間弘道、#山崎武、#嶋田雄右、袴田憲昭、佐藤芙美恵、蓼沼正紀、鈴木元紀、富岡重雄、山本端男、長谷川哲治、#中田龍一、塚本祝永【30期】米川朋生、田村正宏、山本正樹、宮腰七郎、宮原卓、小形昇三、#斎藤雄輝、藤田道義、渡邊傑、#相沢節夫【31期】小田幸雄、檜森隆、菊池宏道、大倉報三【32期】佐藤正勝、野呂田正一、笠原強、奈良勝夫、芦崎昭紀、#吉岡良隆、松橋厚、大沢忠夫【33期】野原祐造、#清野勝子、清水靖子、矢木信章、#金田英成【34期】金谷輝久、杉沢忠信、畠山昇、#庄内正、#長岡忠光、#斎藤彰悟【35期】#加賀亮司、澤目秀一、金子永喜、#横田真理子、#川添能夫、小山内与治兵衛、#平川徳道【36期】智田慎正、#深井学、大野操、浅沼節子、佐藤修一、藤田辰夫、山本修、櫻庭均、細田静夫、大山金士郎【37期】今野廣隆、小笠原芳信、#若狭秀巳、小杉山久晴、#小野津世子【38期】石川博、珍田充、工藤巧、#佐藤則男、#福田満男、戸松伸一、松谷康雄、#酒田正克、#佐藤春香、畑沢鉄三、伊藤陽一【39期】保坂孝範、永井昭、#持田訓、泉龍英、野呂文広、金野峻明、#安井努【40期】高橋聡、三戸和幸、#高橋博美、#熊澤朝子、#智田農、富樫順一、#北川雅夫【41期】#成田忠幸、高畑仁、安部義三、水木秀範、#佐藤治【42期】#佐藤行信、工藤俊一【43期】#幸坂和彦、斎藤友江、#須藤正喜、白木仁、五代儀彦秀、#高橋敦子、北林博敏、#石塚信一【44期】#渡辺隆幸、武石栄伸、成島寧子、#三国昇一【45期】#河田昌俊、長江妥貴子、嶋田清人、平野信任、港基樹、#高松武史、#小杉山乙矢【46期】齊藤昭義、和田尚武、工藤義広、大塚晃、清水文彦、佐々木恵、#斎藤靖雄、高橋邦夫、高橋留美子、佐藤浩【47期】山田肇、五十嵐和雄、成田俊一、#大久保昭佳、佐野輝彦【48期】越後康一、野村松信、#加藤之【49期】田村弘文、小杉山晃一、田口光彦、#松永京子、今野泰則【50期】#佐藤孝也【51期】池内史彦、工藤治、堀辺寿子、安田勉【53期】堀内博司、鈴木美千子、吉田知幸【54期】斎藤伸一、#遠藤いぶき【55期】浅野敦志、#大山顕【57期】青木いづみ、#北野美穂子【60期】山口美幸【61期】村上巧美【62期】滝こずえ、#大高忠勉【67期】柳谷真澄、小林祐子【69期】赤川豊幸【82期】今西望

●#印は会費納入の方 ●年会費世帯制の適用者1組は2名の名前を掲載しました。

※このページは敬称を略しました。★欠席でも回答をいただけると助かります。今年ぜひ参加してください。

平成26年度 総会・懇親会のご報告

2014年10月4日(土)、能代高校東京同窓会総会・懇親会がアルカディア市ヶ谷で賑やかに開催されました。能代など首都圏以外からの参加も含め、19期から83期までの同窓生と来賓あわせて105名が集い、親交を深めました。脚本家で日本シナリオ作家協会理事長の加藤正人さん(第42期)の講演の要旨もあわせてご報告いたします。

講演会「故郷を離れて思う故郷」

講師：加藤 正人さん



●本因坊戦第2局「金勇」

齊藤慈宣・能代市長との食事会(2009年)の際、旧料亭金勇をPRするいい方法がないか相談されました。その席で、囲碁か将棋のタイトル戦を招致してはどうか、という話題になりました。囲碁の高尾紳路十段と付き合いがあったことから日本棋院を紹介してもらい、何年かかけて誘致活動をしました。

運がよかったのは、私が書いた映画「天地明察」(2012年)の中で囲碁のシーンがたくさんあったことや、また毎日新聞の本因坊戦前夜祭で講演も依頼されたことなどから、囲碁関係者との交流が深まったことです。いろいろな場所で金勇への本因坊戦を誘致し続けて実現しました。本因坊戦の後、大会関係者からは能代市民が一丸となって歓迎してくれて大変感動したと言ってもらえました。

対局時には、能代市で毎日新聞が号外を発行し、好評でした。その紙面を編集したのが51期で、毎日新聞の河田康史さん。いろいろな縁があるなあと思います。

井山裕太本因坊(25)は、よほど能代が気に入ったようで、1日目の対局後、彼から「夜の街に出て、ラーメンが食べたい」(通常はあり得ない)と言われ、「吾作」に連れて行きました。ピ

ールも飲んで、(店員が緊張しすぎて)真っ黒に焼けた餃子も食べたのを覚えています。

●NHK ラジオドラマ「防砂林」

誘致活動のころ、NHKからラジオドラマの依頼があり、能代の「風の松原」を舞台にしたオリジナル脚本「防砂林」を執筆しました(2014年6月28日放送)。執筆場所は金勇の小部屋。執筆当時の写真とラジオドラマの音声が流れているそうです。声優出演は、能工出身の友川カズキ(ミュージシャン)、山谷初男(俳優)、今立善子(能代ミュージカルの名女優)らオール秋田のドラマです。七夕のメロディーでクライマックスになります。

東京に出て来て40年以上、能代の思い出が遠くなるのですが、遠くなればなるほど郷愁を感じ、能代への愛着が深まります。私がラジオドラマを書きたくなった理由でもあります。

●映画「ふしぎな岬の物語」

そして、映画「ふしぎな岬の物語」(成島出監督)が公開(14年10月11日)になります。東映の作品で、53期の吉田順さんが制作委員会を務めていて、日ごろ大変お世話になっています。彼の実家は、私の実家から歩いて1分。また、近くには若松正雄・元日活社長もいて、私は日活撮影所で大変お世話になりました。30年以上も前のことです。

その日活を代表する大女優が吉永小百合さんで、今回の映画の主演女優です。脚本はかなり難航しました。吉永さんが初めてプロデューサーも担当し、原作を見つけてきて、成島監督も吉永さんの指名。とにかく長時間打ち合わせの連続。

「また、直しかあ」と思う反面、「また吉永さんに会えるからいいかな」と。

昔の日活の話聞かせてもらい、貴重な体験で



した。脚本の執筆は神楽坂の旅館「和可菜」（女優・木暮美千代さんの妹が経営）でした。そこに吉永さんが差し入れに来るんです。ある時、吉永さんが「たまには脚本家の皆さんが行く店で食べたい」ということになってさあ大変。車など手配したのですが、彼女の希望で旅館から店まで神楽坂を歩いて行くことになりました。吉永さんは女優のオーラを消すんですよ、オーラを消すと誰も吉永さんだとは分からない。サングラスや帽子をつけなくても。そういう特殊な能力を持った女優ですね。

●吉永小百合さん

吉永さんは生涯2回（北海道、九州）しかラーメンを食べたことがないそうです（オーラを消せるといっても、吉永さんだと分かるので大騒ぎになるので）。焼き肉は食べたことがないそうです。そういう話を伺って、全然我々とは全く違うんだなあということを経験するたびに驚きました。

たまたま運が良くて、モントリオール世界映画祭で「審査員特別賞グランプリ」「エキシメニカル審査員賞」を受賞しましたが、スタートから公開まで取り組んだ、吉永さんの力だと思います。

●脚本家・加藤正人の代表作に

今年、大学の講師など全ての教育関係の仕事をやめました。もう一度、日活時代のように脚本だけに心を向けて、代表作を書きたいと思っています。いま「エベレスト」という本を書いています。角川映画で製作し、東宝で公開されます。順調にいけば2016年公開です。今、一番、力を入れている作品です。

還暦はもう一度原点に戻ったということなので、みなさんに見ていただけるような映画脚本を書いていきたいです。

構成／河田康史（第51期）



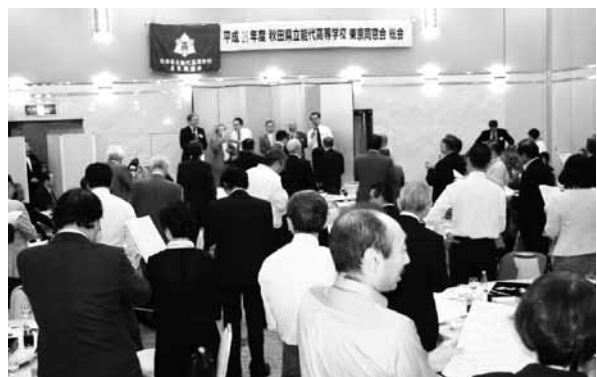
総会・懇親会の受付準備中。



第19期の小林肇さんから、懇親会開始にあたって乾杯のご発声。



能代から参加した小野立さん（第67期）が旧能代市民歌を披露しました。



今回は応援歌から、久しぶりに「遠征歌」を合唱しました。続いて「日本海」も。

※ 総会・講演会・懇親会・二次会の写真の一部は東京同窓会のホームページからもご覧になれます。東京同窓会のブログやフェイスブックにもこちらからお入りください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

会 員 だ よ り

関根市男さんを偲ぶ

第39期 菅原 涉

長いこと東京同窓会に尽力いただいた関根市男さん(第29期)が平成27年3月13日に永眠された。

10期違いである関根さんとの出会いは奈良市にある航空自衛隊の幹部候補生学校であった。関根さんは航空自衛隊の要撃管制官の道に、そして私は戦闘機パイロットの道に進んでいた。要撃管制官とは我が国に領空侵犯してくる敵機をレーダー補足し、スクランブル発進する戦闘機を的確に敵機まで誘導する大変重要な任務である。当時はソ連機が主で年間900回位のスクランブル発進が行われていた。関根さんの誘導は的確でその指示通りに飛ぶとピタリと絶好の位置につけてくれた。その腕前は航空自衛隊でもピカーで、私はもちろん多くのパイロットからも絶大な信頼を受けていた。私は一足先に民間に出たのだが、ちょうど20年前に退官した関根さんが東京同窓会に参加してきた。久しぶりの再会に話も尽きず明け方まで飲み明かした。その後も何かにつけて呼び出しがあり、関根節と言われる独特の語り口で毎回熱く語り合ったものだ。

今年の初め頃から癌治療で入退院を繰り返していたが、危ない状況だと突然奥さんから電話が入った。2日前に電話で元気に話したばかりだったので信じられない気持ちだったが、急遽全ての予定をキャンセルして病院に駆けつけた。前年の太田勝治さん(第29期)の時に、駆けつけた時には半日遅れで既に意識不明だったという苦い経験があったからだ(奇しくも菅原・関根の二人で駆けつけた)。酸素マスクと数本の点滴姿で横たわる姿に一瞬ハッとしたが、そっと声を掛けるとパッと目を開き、私の顔を見てニコリと笑うとベッドに起き上がり、思い出の写真を見ながら1時間ほど談笑した。話し始めたらどんどん元気になって驚いた。ふと「菅原君、遺影の写真はこれがいいかな? 実は心残りがあるんだよ。一つは君が操縦する飛行機で日光華厳の滝に急降

下フライトをすること、二つ目は5月でカイロプラクティック開業20周年になるのでそのお祝いパーティをやることだ」と言う。「元気になったらできますよ。是非それを実現しましょう。それと10月3日の総会



昨年の総会・懇親会に出席した関根市男さん。

にも出てください」「うん、印をつけておくからね」「約束は三つですね」と固い握手をして別れた。それから僅か28時間後に関根さんは帰らぬ人となった。斎場で遺骨を拾いながら、お互いの約束どうやって守ったらいいの…と呟くと涙が止まらなくなった。

関根さん長い間ありがとう、安らかにお休み下さい、また会いましょう…。

思いがけないプレゼント

第48期 佐藤 美香子

2014年10月4日、能代高校東京同窓会に初参加させていただきました。その5年前、ちょうど50歳の夏に高校卒業後にして初めての同期会が地元能代で開催されたのが、そもそものきっかけでした。大学入学以降、東京近郊に住み着き、帰省はお盆の頃くらい、という生活でしたから、高校時代の友人たちとは疎遠になるばかり。32年ぶりの再会に積もる話は尽きませんでした。その席で、何人もの友だちから私の従兄弟と東京同窓会で会ったという話を聞き、参加を誘われました。以来、北林蒔子さんをはじめとする同期と東京で集まる機会が増え、また、フェイスブックの存在を教えてもらったことで交友関係が一気に広がりました。恐らくフェイスブックがなかったら、東京同窓会に参加することも躊躇したままだったかもしれません。と言いますのも、従兄弟が懇親会のためにゴスペルを練習している!と投稿しているのを見て、俄然興味がわいて参加する気になったのです。

当日は総会、懇親会、二次会、三次会…と初参加にしては延々と楽しませていただきました。期待のゴスペルも素晴らしいパフォーマンスでした。懇親会では初めてお会いする先輩後輩の方々がほとんどでしたが、そこは同窓同郷のよしみで、すぐに打ち解けてお話ができました。

私事ですが、亡き父は昭和46年から52年まで7年間数学教師として在職していました。先輩の中には父が担任だったという方や授業を担当していたという方が何人もいらして思い出話を色々とお聞きできました。前年に父を見送ったばかりでしたので、思いがけないプレゼントをいただいたような温かい気持ちになりました。これも東京同窓会に参加したおかげと感謝しています。

さて、今年の総会懇親会では松陵クワイヤのお仲間に加えていただき、いよいよゴスペル・デビュー。とは言え、まだまだ未知の世界ですので、一人でも多くの方とお知り合いになりたいと考えています。どうぞ、お見知り置きくださいませう、よろしく願い致します。



懇親会の初参加者紹介より。

た能代で久しぶりにお目にかかった際、「10月に能代高校の東京同窓会があるけどな」というお言葉に「参加いたします」となりました。

当日は「知っている人がいるだろうか」「どんな話をしたらいいだろうか」などと少し緊張気味で会場に向かいましたが、杞憂でした。そもそも勤務先で秋田県出身者10人弱だけが集まる飲み会でさえも大いに盛り上がるわけですから、100名超の能代高校の同窓の方々と一度にお目にかかって、感動しないはずがありません。

まず、受付では初参加の会費割引で早速得した気分になり、テーブルでは気さくに話しかけてくれる方々ばかりですぐにリラックスできました。そして、同窓生を代表する文化人のお一人、加藤正人さんから貴重な映画製作裏話を生で拝聴できた上に、能代高校東京同窓会メンバーで構成される松陵クワイヤのプロフェッショナルで乗りの良いゴスペル風秋田音頭で大いに元気を頂戴しました。さらに、33年ぶりの遠征歌と校歌に当時の体育館や教室、同級生が鮮明に目に浮かんで、感涙直前になりました。歓談中もお世話になった先輩の叔父さんに偶然お目にかかり、携帯でその先輩と話すなど、サプライズの連続。二次会も席を入れ替わりながら懇親会以上に沢山の先輩・後輩との交流になり、私の場合は例えば、幹事長・45期の三浦洋さんと趣味の短波受信機ペルセウスについて盛り上がったりしました(おたくな話題で恐縮です)。

今年は連絡が取り合える同期達にも声をかけて是非一緒に参加できればと考えています。

東京同窓会・総会に初参加して

第52期 井潟 正彦

参加のきっかけは、能代高校東京同窓会の総務委員長で51期幹事・袴田亘さんからの誘いでした。亘さんは私が感恩講保育所のおかげで近所の一年上の先輩で、湊城第三小学校、能代二中、能代高校とずっと一年上(当たり前ですが)の先輩。とくに能代二中と能代高校(2年生の冬からは幽霊部員でしたが)ではバスケットボール部でも一緒にした畏敬する兄貴分です。昨夏に帰省し

湯島で同窓生に会える店



あぐ・季節料理

上野 きくち

通算43期(新制25期) **菊池 忠夫** 白神山地(藤里町)出身



千代田線湯島駅6番出口
徒歩1分

(大手町から北千住へ向かって最後方出口)

東京都台東区上野1-12-2
亀田ビル 1F ☎110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382

五十にして同期会を知る

第49期 工藤 孝徳



2014年、能代のプラザ都で開催された第49期同期会「高埜二期会」。

第49期生の同期会は、今から5年前の平成22年8月に、高校を卒業して以来、実に32年ぶりの夏に初めて開催された。皆が満50歳を迎える節目の年である。当日は、恩師5名、同期生60名の参加により大いに盛り上がった。久々に会った同期生は、すぐにそれと気づく人もいれば、体型や頭頂部が大きく変わっていて自己紹介されるまで気づかない人(私も含めて)も。一方、女性陣には意外と当時の面影が残っている人が多いことに驚いた。

32年ぶりの再会がゆえに話は尽きない。クラスごとに担任の先生とともに壇上に上がり、各人が自己紹介するコーナーがあったが、1人1~2分の持ち時間で数十年の人生を語り尽くせるはずもなく、皆さん結構時間オーバーしていた。50歳を迎え、「天命を知る」語り口かと思いきや、意外と家族のこと、特に子供の話をする人が多かったような気がする。しかし、聞く側も皆飽き

ることなく、真剣に聞き入っていた。同じ時代を生きてきた者だからこそ深く共感できる。

それから4年、もう一度再会したいという思いが高じて、昨年8月に2回目の同期会が開催された。このときの参加者は前回よりやや少なかったが、これはこれでアットホームな雰囲気を楽しんでいる時間が過ぎていった。初回の開催も含めて、地元の幹事の皆さんには、こうした機会を与えてくれたことに本当に感謝したい。

さて、この時の同期会では、松永(旧姓:三輪)京子さんから、「東京同窓会」がものすごく盛況で同期の参加者も多く、毎回楽しみにしているという話を聞いた。気になってホームページを見てみると、確かに盛況ぶりが窺える。何と、平成24年の会報には、我が担任の藤原六郎先生が同期の連中と仲良く写っているではないか。本当に羨ましい。

私も秋田支部の同窓会には何度か参加しているが、これほどの盛況ぶりにはならない。能代から離れているほど母校や故郷に対する愛着が強くなるということなのであろう。機会があれば、私もぜひ東京同窓会に参加してみたい。



東京同窓会の懇親会にて、同期で歓談。

五日会の活動について

第66期 高橋 弘志

先般より会員の皆様には連絡させていただいておりますが、今年度より「五日会」は以下の通り運営幹事の刷新を行いました。

□会長 石井 喬 (46期)

□副会長 片谷浩之 (49期)、梶原禎子 (53期)

□事務局 高橋弘志 (66期)、清水洋志 (66期)

今年度も各季節に1回を目処に開催を予定して

能代郷土料理・居酒屋

酒楽

こてらんこ

藤岡洋子(能代北高卒)

〒110-0015
東京都台東区東上野1-19-2 第二鈴木ビル1F
☎ 03-6803-0239

・JR御徒町駅 北口より歩いて5分
・日比谷線 仲御徒町駅3番出口より歩いて3分

◆定休日 土日祝(土曜日は予約のみ営業)

おり、以下の通り年間計画に沿って活動を行っております。

◎春(お花見) 4月17日(金)

◎夏(暑気払い) 7月10日(金)

◎秋(紅葉) 10月23日(金)

◎冬(新年会) 1月22日(金)

初回となる4月17日には、新体制での第一回目の「五日会」を中華料理「歓 後楽園店」にて開催いたしました。こちらのお店は、糖質制限にこだわった「食べても太らない」中華料理屋さんで、有名人が通うお店ということでメディアにも数多く登場しており、期待通りの素晴らしい料理を堪能しました。また、飲み物の売りである紹興酒は、中国は浙江省紹興で作られた本物の紹興酒で、当日はお店の方に褒割りのパフォーマンスも行っていました。味は天然の甘味があり、まろやかなブランデーのようで、ご参加の皆様にも大好評でした(想定よりも多めに紹興酒を出していただいたようで、お店としては赤字だったかも??)。今回、事務局としては初めての開催で、多少不安な面もありましたが、初参加の方にも多くお越しいたいただき、楽しい会にできたのではないかと思います。

7月には、魚釣りのできる居酒屋「ざうお」(渋谷)で開催しました(写真下、第47期の越中谷真喜先輩に撮影していただきました)。

また、土曜日の開催希望の声が多かったため、幹事一同で土曜日の開催についても今後検討してまいります。

今後とも、気軽に参加できる楽しい会を企画したいと思いますので、「五日会」へのご参加をよろしくお願いたします。



東京同窓会の同好会

東京同窓会には、同窓生の親睦のために以下の同好会があります。これらの会に連絡を取りたい人、新たな同好会の提案や希望がある人はご連絡ください。

事務局メールアドレス：shoryo-tokyo-01@live.jp

◇棋聖会

活動内容：囲碁・将棋の同好会です。年に3～4回程度、土日・午後の開催を予定しています。

代表者：石川正順(第29期)

◇能高五日会

活動内容：同窓生の青年部。若手同窓生たちの親睦と交流を目的にした懇親会です。設立は2006年1月5日。自分が若いと思っている人はだれでも青年。入会資格は故郷と母校を愛していること。

代表者：石井喬(第46期)

◇樽子山会

活動内容：樽子山を卒業した世代が各期を越えて参集し懇談します。元気な70歳台の楽しい寄集まり会にしたいと思います。

代表者：熊谷幸夫(第30期)

◇能球会

活動内容：年2～3回、東京近郊のコースでゴルフを楽しみます。

代表者：石井喬(第46期)

◇能高釣クラブ

活動内容：自然を満喫しながら溪流釣を楽しみ、昼はバーベキュー、夕方は温泉で疲れを癒します。

代表者：小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

活動内容：年2回(予定)、日常あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策します。2014年は武蔵野や六義園周辺を探訪しました。東京同窓会ブログに報告を掲載。

代表者：吉田真由美(第46期)

◇能高バスケの会

活動内容：能代カップやウインターカップ、日本リーグやbjリーグ観戦、本校バスケット部やOB会との交流などによる情報交換をしています。

東京同窓会ホームページに報告を掲載。

代表者：片谷浩之(第49期)

平成27年度(2015年)収支決算報告書

(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
総会収入	760,000	587,000	総会費	1,140,000	868,655
会費収入	600,000	445,000	組織拡張費	20,100	6,886
雑収入	30,150	60,945	一般管理費	230,050	140,835
当期収入合計	1,390,150	1,092,945	当期支出合計	1,390,150	1,016,376
			当期収支	0	76,569
			前年度繰越金	954,256	954,256
			翌年度繰越金	954,256	1,030,825

★紙面の都合で簡易版を掲載しました。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

年会費納入のお願い

会報の印刷代、送料、総会開催に係る費用などは、皆さまからの年会費でまかなわれています。納入にご協力のほどよろしくお願いいたします。

▼今年度から年会費を2,000円に値下げしました。

▼銀行振込も利用できるようになりました。

【年会費振込先】

○郵便払込の場合

口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

○銀行振込の場合

ゆうちょ銀行 018(ゼロイチハチ)

支店 普通預金 5914261

口座名義 能代高校東京同窓会



昨年の懇親会の終盤。同窓生と在校生にエールを送り、校歌を斉唱します。



校歌を歌いながら…グッとくる光景です。

秋田公立美術大学独自の教育システム

5 → 2 → 1

新しい大学だからできる、変化の中で生き残る人材の育成。

アーツ&ルーツ専攻
ビジュアルアーツ専攻
ものづくりデザイン専攻
コミュニケーションデザイン専攻
景観デザイン専攻

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART

〒010-1632 秋田市新屋大川町12番3号
Tel:018-888-8105 Fax:018-888-8101 www.akibi.ac.jp

センター
利用入試
検定料割引

2016年 獨協大学の
一般入試が
変わります。

DOKKYO UNIVERSITY

【インターネット出願限定】
通常1志願につき、
¥17,000のところ

2志願まで一律 **¥17,000**
3志願目以降1志願につき **¥8,500円**

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

〒340-8585 埼玉県草加市学園町1-1
TEL:048-946-1900(入試課直通)
<http://www.dokkyo.ac.jp>

松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第25号

発行日 平成27年9月1日

発行行 能代高校東京同窓会

発行責任者 菅原 渉

編集 会報誌委員会

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町3-35-5-504

株式会社 ダイオージャパン内

電話 03-3660-1957

FAX 03-5847-7056

■年会費振込先

●郵便払込口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

●ゆうちょ銀行 018(ゼロイチハチ)支店

普通預金 5914261

名義 能代高校東京同窓会